

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：現代の経済学 ILAS Seminar :Modern Economics			担当者所属 職名・氏名	経済学研究科 教授 依田 高典		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	法経東館6階614号室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	現代経済学 / ノーベル経済学賞						
[授業の概要・目的]							
現代の経済学の内容と歴史をアルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン国立銀行賞(いわゆるノーベル経済学賞)の歴史を振り返る形で概観していく。ノーベル経済学賞は、1968年にスウェーデン国立銀行が設立300周年祝賀の一環として、ノーベル財団に働きかけ、設立された賞である。スウェーデン王立科学アカデミーにより選考され、ノーベル財団によって認定される。ノーベル経済学を振り返れば、現代の経済学の色々な顔が見えてくるはずである。							
[到達目標]							
経済学の理論の細部には立ち入らず、ノーベル経済学賞受賞者の生い立ちと研究業績の現代社会的意義について、分かりやすく解説していきたい。 合わせて、文献を熟読し、レジュメを作成し、理解したところを感想文にまとめ、それをプレゼンする能力が身につく。							
[授業計画と内容]							
1テーマにつき、1~2週の授業を行う。 各回において、レジュメ作成、感想文発表など、無理のない範囲で課題を与える。 また、それらレジュメ、感想文に対して、相互批評を行いながら、プレゼンテーション能力の向上も狙う。							
(1)ノーベル経済学賞の誕生 -フリッシュとサミュエルソン-							
(2)現代ミクロ経済学の構築 -ヒックス、アロー-							
(3)社会経済学の射程 -ミュルダール、ハイエク-							
(4)アメリカ・ケインジアン of 活躍 -クライン、トービン-							
(5)反ケインズ革命ののろし -フリードマン、ルーカス-							
(6)シカゴ学派の繁栄 -スティグラー、ベッカー-							
(7)動学的マクロ経済学の発展 -ソロー、プレスコット-							
(8)金融経済学の革新 -マーコヴィッツ、ショールズ-							
(9)国際経済学の精緻化 -オリーン、マンデル-							
(10)市場と組織の経済学 -コース、ウィリアムソン-							
(11)ゲームと情報の経済学 -ナッシュ、アカロフ-							
(12)行動経済学の流行 -サイモン、カーネマン-							
(13)歴史と倫理の経済学 -ノース、セン-							
(14)ノーベル賞経済学者の活躍 -スティグリッツ、クルーグマン-							
(15)ノーベル経済学賞の忘れもの -ハロッド、森嶋通夫-							
時間的余裕があれば、教員の別の著作(『ココロの経済学』(ちくま新書))もとりあげ、現代経済学の概要把握に努める。							
----- ILASセミナー：現代の経済学(2)へ続く -----							

ILASセミナー：現代の経済学(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点評価（教材に合わせて、毎週出される課題の提出と発表）

[教科書]

依田高典 『現代経済学(放送大学教材)』（放送大学教育振興会）

依田高典 『「ココロ」の経済学』（ちくま新書）

[授業外学習（予習・復習）等]

発表報告の割当課題をこなすこと。

[その他（オフィスアワー等）]

ida@econ.kyoto-u.ac.jpにて予約すること。